

令和4年度 当初予算の概要

一般会計

96億1,300万円の使い道

令和4年度予算が3月定例議会において可決されました。

一般会計予算96億1,300万円、特別会計予算は56億6,024万円、総額予算152億7,324万円となりました。

町民1人あたりに使われる予算

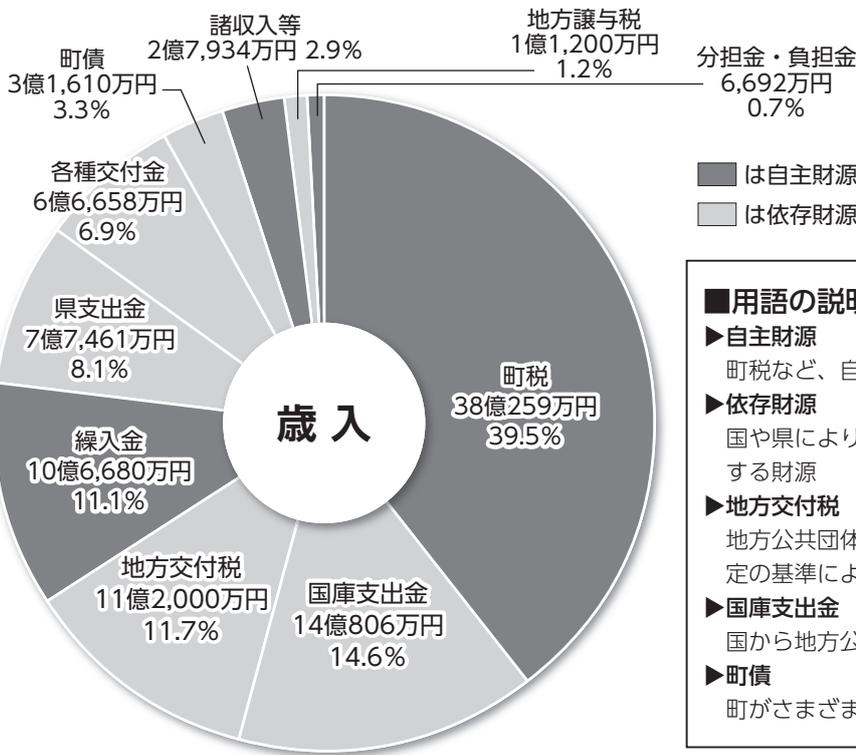
313,321円

町民1人あたりが負担する税額

123,940円

(令和4年3月1日現在の人口で算出)

一般会計歳入



歳出の特徴

昨今の厳しい財政状況を踏まえ、事業の必要性および緊急性などを十分に検討し、徹底した抑制を行うとともに、社会保障事業やまちづくりの基本となる各計画に基づいた事業

繰入金は財政調整基金の増などにより、3億9839万円の増額となっています。(前年度比59・6%増)

51・5%減)

繰入金は財政調整基金の増などにより、3億9839万円の増額となっています。(前年度比59・6%増)

歳入の特徴

歳入の39・5%で自主財源の大部分を占める町税ですが、新型コロナウイルス感染症の影響が減少することを見込み、2億103万円の増額としました。(前年度比5・6%増)

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種に係る国負担金の増などにより、1億8912万円の増額となります。(前年度比15・5%増)

依存財源でもある地方交付税は、国が発表した地方財政対策の内容を踏まえ、8000万円の増額としました。(前年度比7・7%増)

■一般会計・特別会計・企業会計当初予算

区分	会計名	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	増減率 (%)
一般会計		96億1,300万円	90億3,200万円	6.4
特別会計	国民健康保険	31億2,888万円	30億4,217万円	2.9
	介護保険	21億3,879万円	19億5,732万円	9.3
	後期高齢者医療	3億7,088万円	3億1,609万円	17.3
	農業集落排水	2,169万円	1,665万円	30.3
企業会計	水道事業	9億7,068万円	9億1,912万円	5.6
	下水道事業	6億942万円	5億623万円	20.4

※①1万円未満四捨五入

②水道事業および下水道事業は収益的支出と資本的支出の合計額です。

政府は、新型コロナウイルス感染症による先行き不透明な状況の中、成長と分配の好循環を実現するため、成長戦略、分配戦略に基づいて予算を重点配分することとしており、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱に、適切かつ効果的な支出を推進する予算編成を行うこととしています。

町では「第5次上里町総合振興計画」を主軸とし、町の将来像を「ひと・まち・自然が共に輝く、ハーモニータウンかみさと」と掲げ、各施策がバランスよく推進され、調和のとれた「ハーモニータウン」の形成をめざしています。

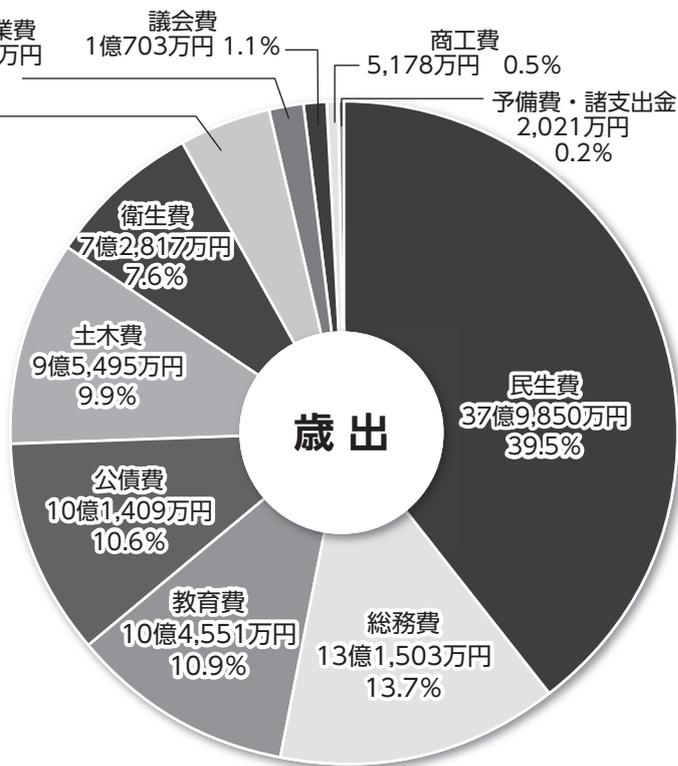
令和4年度も「選ばれる町、住み続けたい町」の実現に向けて、最大限の努力をもって取り組んでまいります。

予算編成の基本的な考え方

一般会計歳出

■主な歳出性質分類

区分	予算額	構成比
補助費等 (補助金や負担金、税金の還付などの費用)	20億318万円	20.8%
扶助費 (子育て、教育、健康・医療などの費用)	19億4,040万円	20.2%
人件費 (職員の給料や手当などの費用)	16億7,343万円	17.4%
物件費(備品などの購入経費や委託料、光熱水費などの費用)	14億7,212万円	15.3%
公債費 (借金の返済に要する費用)	10億1,409万円	10.6%
繰出金 (一般会計から特別会計に支出する費用)	8億870万円	8.4%
普通建設事業費 (道路や施設の建設経費などの費用)	4億5,842万円	4.8%
その他	2億4,266万円	2.5%



の推進を図り、将来の財政負担等を考慮したうえで、持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

39・5%を占める民生費では、児童や高齢者、障害者への福祉施策を行います。また、民間保育所における保育士等に対する処遇改善のための補助金交付を行います。(前年度比1・3%増)

総務費は、長および議会議員選挙や参議院議員総選挙といった各選挙費などを計上しています。また、今年度は旧コミュニティセンターの解体に向けた設計業務委託を行います。(前年度比0・4%増)

教育費では、七本木小学校屋外トイレの改築工事や統合型校務支援システムの導入など、教育環境の改善整備を行います。(前年度比8・6%増)

土木費では、神流リバーサイドロードや児玉工業団地線の整備継続など、道路ネットワークの強化に係る事業および駅北まちづくりの実現に向けた調査等を行います。

(前年度比70・4%増)

衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種関連費を計上しています。また、引き続き各種予防接種やがん検診事業の推進を図ります。(前年度比1・7%減)

令和4年度 主な事業と予算

主な事業と予算額を、町の基本政策に基づき紹介します。(特別会計含む)

◎…新規事業 ○…一部新規事業 1万円未満四捨五入

健やかで安心なまち

- **予防対策事業** 2億6,768万円
各種予防接種（新型コロナウイルスワクチン接種）や検診への助成等により健康増進に取り組みます。
- **老人福祉事業** 864万円
高齢者の健康保持、生活の安定のための事業を行います。また、昨年度に引き続き、こむぎっち号を利用できない高齢者に対しタクシー運賃の補助を行います。
- **地域子ども・子育て支援事業** 3,123万円
地域の子ども・子育ての支援や各種事業充実を図ります。また、今年度も出産祝記念品等の贈呈を行います。



新型コロナウイルスワクチン接種

快適で安全なまち

- **児玉工業団地線事業** 1億1,334万円
県道上里鬼石線の本郷T字路から児玉工業団地までを結ぶ道路整備を行います。
- **神流リバーサイドロード事業** 6,621万円
上里スマートインターチェンジから県道藤岡本庄線を結ぶ道路整備を行います。
- **橋りょう維持事業** 7,282万円
橋りょうの安全確保のため点検業務を行います。
- **駅北まちづくり事業** 4,193万円
神保原駅再整備の調査・検討や大型商業施設跡地の土地取得に向けた調査業務を行います。



神流リバーサイドロード

人が輝くまち

- **小・中学校管理運営事業** 1億5,610万円
教育環境の改善、充実を図ります。今年度は、七本木小学校屋外トイレの改築工事を行います。
- **体育施設管理運営事業** 2,813万円
多目的スポーツホールの計画改修に向けた設計業務を行います。



多目的スポーツホール

実り豊かなまち

- **農業振興事業** 1,344万円
新規就農や環境保全型農業に取り組む農業者への支援および認定農業者など担い手農家の育成、地元農産物の地域消費の拡大等に取り組みます。
- **商工業振興事業** 3,147万円
町商工会補助金や指定企業施設奨励金の助成等により、地域経済の活性化を図ります。昨年度に引き続き、新規創業者への助成を行います。

みんなで支えあうまち

- ◎ **情報ネットワーク事業** 8,301万円
役場業務のデジタル化に向けたシステム調達やセキュリティ強化など、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進に取り組みます。
- **児玉都市広域市町村圏組合負担金** 7億3,084万円
本庄児玉地域の消防・清掃業務を実施する組合への負担金です。

4月1日から 役場組織の一部が変更となります

より効率的な業務が行えるように、役場組織の一部を変更し、課名等が変更になります。

《変更前》

課名	係名
まち整備課	都市整備係
	公園管理係
	道路管理係

《変更後》

課名	係名	主な業務内容
まちづくり推進課 【☎ 71 - 6511】	都市整備係	都市計画・まちづくり業務
	施設管理係	公園・町営住宅の管理
道路整備課 【☎ 35 - 1227】	道路整備係	道路・水路に関する事務 境界に関すること

学校教育課

教育総務課
【☎ 35 - 1246】

学校教育
指導室

教育指導課
【☎ 35 - 1247】



問合せ…総務課秘書職員係 【☎ 35 - 1234】

町長コラム

山下 博一



43

新神流川橋 開通間近に
先月、新神流川橋上り車線の床版工事が完了したと報告を受けました。長さ729メートル、これで橋全体の半分が完成したことになります。使われた鋼製ボルトは約12万本。床版を目視するとまっ平らに見えますが、実際は空に向かって凸状に湾曲しているそうです。橋の重さは3000t以上。ところが驚くことに気温によって橋桁が伸び縮みするのです。そしてこの伸縮を呑みこめない橋桁が外れ落下してしまう。しかし、曲がっていることによってあそびが生まれ、これが伸縮を調節し落下を防止するのだそうです。

この後、舗装工事が行われ、今年のうち暫定で上下各1車線の橋として供用されます。橋桁の色は周囲の環境と調和するように黄緑です。

それまでの木橋に代わって、鋼桁橋の現在の神流川橋が開通したのが1934年9月。昭和、平成、令和と1日も休むことなく見玉郡はもとより関東信越の人流、物流を支えてくれました。ただ感謝です。下り車線のあるため、現橋と重なる部分があるため、撤去してか

新橋の暫定供用によって本庄道路の整備も大きく前進します。深谷バイパス、熊谷バイパス、上尾道路、新大宮バイパスと一体となって県内を南北に縦貫する一大動脈が、町内を走ることになるのも、そう遠いことではありません。渋滞緩和や死傷事故防止はもちろん、地域経済の発展や災害時の緊急輸送に大きく貢献することが期待されます。

そして忘れてならないのは、ローケーションのよさです。上毛三山を天然の屏風にする新神流川橋は間違いなく新たな名所になるでしょう。

大宮国道事務所では、渡り初めイベントを計画しています。工事に協力下さった皆さまをはじめ、多くの町民に自分たちの足で新橋を渡っていただき、次第お知らせしていきます。



▲新神流川橋